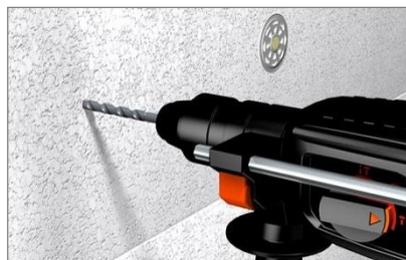


## ターモズ termoz PN 8

ガラス繊維強化プラスチック製ネイルによる広い用途の ETICS 仕様ハンマーセットファスニング



例：EPS 断熱材ボードへ穿孔  
※ 穿孔チップを吸入しながら穿孔。



例：EPS 断熱材ボードへハンマーファスニングを施工

### 適用母材

- 欧州技術認証 母材分類
  - A：普通コンクリート
  - B：中実なレンガ
  - C：孔あきレンガ
- 普通コンクリート
- 建築用レンガ
- 中実な石灰石レンガ
- 軽量コンクリート製多孔ブロック
- 縦孔あきレンガ
- 孔あき石灰石レンガ

### 認証



欧州技術認証 (ETA)  
ETA-09/0171



熱橋軽減  
λ 値クラス  
0.000 [W/K]

### ETICS (外断熱複合システム)

### 特長

- ガラス繊維強化プラスチック製 (GRP) ネイルにより最適な保持力。
- 浅い有効埋込み深さ 35mm は穿孔時間を短縮。
- GRP ネイルにより、断熱材厚 60～180mm において、λ 値 0.000 [W/K] で熱橋軽減。
- シャンクの圧縮ゾーンはディスクを断熱材内へちょうど良い具合に収まる。
- ディスク厚 2.5mm は断熱材内へピッタリとフィットする。
- ソフトな断熱材には大ディスク DT 90、DT 110、及び DT 140 を組み合わせる。
- 最大断熱材厚 180mm。

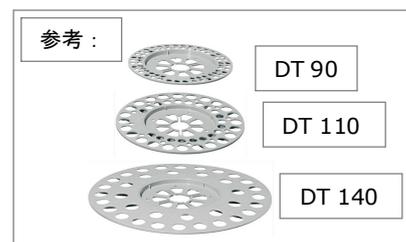
### アプリケーション

- コンクリート造及び組積造へ ETICS 仕様の断熱材ボードを取付け
- ETICS 仕様の断熱材及びミネラルウール系を面一に施工  
例：EPS

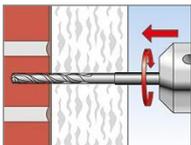
等

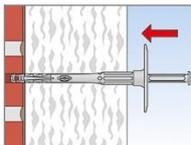
### 機能および使用方法

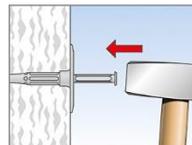
- 現物合せ施工のファスニング。
- 一般のハンマーにて GRP ネイルを打込み簡単に迅速な施工。
- 接着層及び既存の仕上げ層のような無負荷層を含めた最大使用の全長。

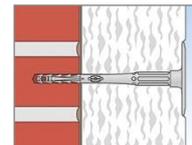


### 施工方法

- ① 

規定の穿孔。  
※ 孔内の切粉は除去。  
※ 穿孔チップを吸入しながら穿孔。
- ② 

ディスク下面が断熱材表面までファスナーを挿入。
- ③ 

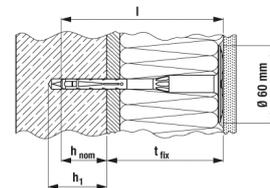
ネイルをハンマーで打込む。
- ④ 

完了。

施工仕様



ターモズ  
termoz **PN 8**  
ディスク径  
60mm



総厚  $t_{fix}$  = 断熱材厚 + 接着層 + 既存厚

製品名 ターモズ	品番	ドリル 径 $d_0$ [mm]	母材への最 小穿孔深さ $h_1$ [mm]	有効埋込 み深さ $h_{nom}$ [mm]	アンカー 全長 $l$ [mm]	総厚 $t_{fix}$ [mm]	入り数 [個]
termoz PN 8/110	506325	8	45	35	108	70	100
termoz PN 8/130	506326	8	45	35	128	90	100
termoz PN 8/150	506327	8	45	35	148	110	100
termoz PN 8/170	506328	8	45	35	168	130	100
termoz PN 8/190	506329	8	45	35	188	150	100
termoz PN 8/210	506330	8	45	35	208	170	100
termoz PN 8/230	506331	8	45	35	228	190	100

荷重

許容引張荷重<sup>1)</sup> (ETICSにおけるアンカー距離、へりあき距離等の影響が無いファスナー単体の場合)

母材 <sup>3)</sup>	最小実質 密度クラス $\rho$ [kg/dm <sup>3</sup> ]	最小圧縮 レンガ強さ $f_b$ [N/mm <sup>2</sup> ]	<sup>2)</sup> 穿孔 方法	許容 引張 荷重 [kN]
普通コンクリート	---	Fc 12	H	0.17
普通コンクリート	---	Fc 16	H	0.17
普通コンクリート	---	Fc 50	H	0.17
中実な石灰石レンガ KS (欧州製)	1.8	12	H	0.20
中実なレンガ Mz (欧州製)	2.0	12	R	0.20
孔あき石灰石レンガ KSL (欧州製)	1.4	12	H	0.13
縦孔あきレンガ Hlz (欧州製)	1.0	12	R	0.13
軽量コンクリート中空ブロック Hbl (欧州製)	1.2	10	H	0.17

- 1) 安全係数等が考慮されています。
  - 2) H = ハンマードリル(回転+打撃作動)による穿孔、R = 回転作動のみによる穿孔
  - 3) 各メーカーの孔パターン、ウェブ厚等の確認が必要で、実際の現場にて引張試験等により最終的に確認が必要です。
- ※ 荷重は諸条件により変化します。